

**【承認統計 21 世紀出生時縦断調査と日本産科婦人科学会  
専門委員会（周産期登録）データベースを利用した、様々な  
環境要因の Non-Communicable Diseases への影響評価】に対する  
ご協力のお願い**

研究代表者 所属 岡山大学学術研究院医歯薬学域 産科・婦人科学 職名 教授  
氏名 増山 寿

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（周産期登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに岡山大学の倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2010 年 5 月 10 日から 24 日の間に分娩された方およびそのご家族の方

2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号

日本産科婦人科学会の許可番号

研究課題名 日本産科婦人科学会専門委員会（周産期登録）データベースと承認統計 21 世紀出生時縦断調査を利用した、様々な環境要因の Non-Communicable Diseases への影響評価

3 研究実施機関

研究機関名 岡山大学

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 産科・婦人科学 増山 寿

4 本研究の意義、目的、方法

Fetal Origins of Adult Disease; FOAD とは、赤ちゃんがお母さんのお腹の中で低栄養にさらされ順調に成長しなくなった場合、大人になった時に肥満症や 2 型糖尿病、高血圧などの生活習慣病のリスクが高くなるという考え方です。今日、出生前のお母さんのお腹の中の環境だけでなく、出生後の母乳栄養などの様々な環境の影響が大人になった時の生活習慣病のリスクと関連していると

され、Development Origins of Health and Disease; DOHaD という考え方として広く知られています。

お母さんのお腹の中～出産～子どもの時に渡って、お母さんのお腹の中の環境、化学物質環境、医療環境、栄養環境、生活習慣、社会環境などの様々な環境が赤ちゃん・子どもを取り巻き、虚血性心疾患、高血圧症、肥満症、悪性腫瘍、精神疾患などを含めた Non-Communicable Diseases; NCDs の発症に深く関わっていると考えられています。しかし、これまで、我が国において、お母さんの妊娠中の病気やもともと持っている病気による子どもの NCDs の発症率の違いやリスク因子の検討など長期間の調査は行われていません。

海外や国内でも様々な小児環境の調査が進行中ですが、これまで岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野では、21 世紀出生児縦断調査で集められた情報をもとに、子どもが成長する環境と健康への影響の関連性について調査を行ってきました(研究科題名:承認統計 21 世紀出生時縦断調査を利用した、様々な環境要因の小児の健康・成長・発達への影響評価)。21 世紀出生児縦断調査とは、子どもの成長・発達の様子や、子育てに関する環境や意識、行動の変化を調査する目的で、平成 13 年 1 月 10 日から 17 日と平成 13 年 7 月 10 日から 17 日に出生した子どもと、平成 22 年 5 月 10 日から 24 日の間に出生した子どもを対象に、厚生労働省によって実施されている調査です。その時期に全国で出生した子どもの全数に対して、郵送による質問紙調査を行い、平成 13 年生まれと平成 22 年生まれの約 85,000 人の方から回答を頂いています。しかし、これまでの調査では、子どもの情報のみで、お母さんの妊娠中の病気やもともと持っている病気、出産の時の情報がなく、それらの調査はできていません。

そこで、この研究では、日本産科婦人科学会専門委員会(周産期登録)データベースのお母さんの情報と出産の時の情報と、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野で行われている「承認統計 21 世紀出生時縦断調査を利用した、様々な環境要因の小児の健康・成長・発達への影響評価」の子どもの情報を繋ぐことで、お母さんのお腹の中で受けた影響(出産の週数、赤ちゃんの成長不良、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病などの妊娠中の病気やお母さんがもともと持っている病気など)による出生されたお子様の NCDs の発症率やリスク因子を調査します。

## 5 協力をお願いする内容

西暦 2010 年 5 月 10 日から 24 日の間に分娩された方およびそのご家族の方を対象とし、以下の情報を使用します。

- ・日本産科婦人科学会専門委員会(周産期登録)データベースに登録されたお母さんの医療情報、出産の時の医療情報、出産された赤ちゃんの医療情報
- ・承認統計 21 世紀出生時縦断調査の子どもの情報

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

## 7 プライバシーの保護について

この研究に使用する情報として、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を

払います。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【情報の利用や他の研究機関への提供（研究内容に応じて適宜記載）】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者 増山 寿

岡山大学学術研究院医歯薬学域 産科・婦人科学

TEL: 086-235-7320

FAX: 086-225-9570

Email: [masuyama@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:masuyama@cc.okayama-u.ac.jp)

研究分担者 光井 崇

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学

TEL: 086-235-7320

FAX: 086-225-9570

Email: [pste1b9s@okayama-u.ac.jp](mailto:pste1b9s@okayama-u.ac.jp)

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-5524-6900

FAX: 03-5524-6911

Email: [nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)